

九重山

○ 11 月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

○ 11 月の活動概況

・噴煙活動（図 2）

噴煙は白色、ごく少量で高さは概ね 200m で推移し、変化はありませんでした。

・地震、微動活動（図 2、図 3）

火山性地震の月回数は 9 回と少なく、静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動（図 4）

GPS 連続観測では、長者原 - 坊ガツル及び長者原 - 牧ノ戸峠の基線長に、1995 年から 1996 年噴火後の火山ガスの放出に伴うと考えられる、長期的な縮みの傾向が見られます。

○ 噴火警報、噴火予報の発表状況（12 月 6 日現在）

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より、噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用を開始しました。これに伴い 12 月 1 日に九重山に以下のような噴火予報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁のホームページを参照ください。

・活動状況及び予報警報事項：噴火警戒レベル 1（平常）

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。九重山の噴火予報・警報は、噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）です。

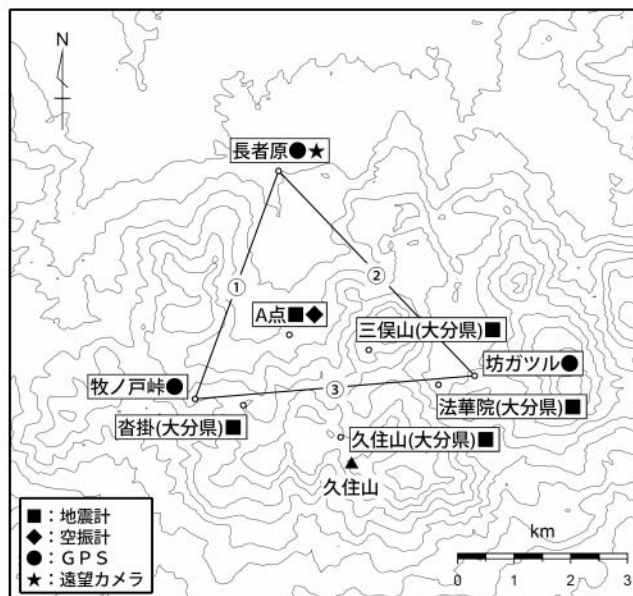


図 1 九重山 観測点配置図

この資料作成に当たっては、気象庁のデータの他、防災科学技術研究所、大分県のデータを使用しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

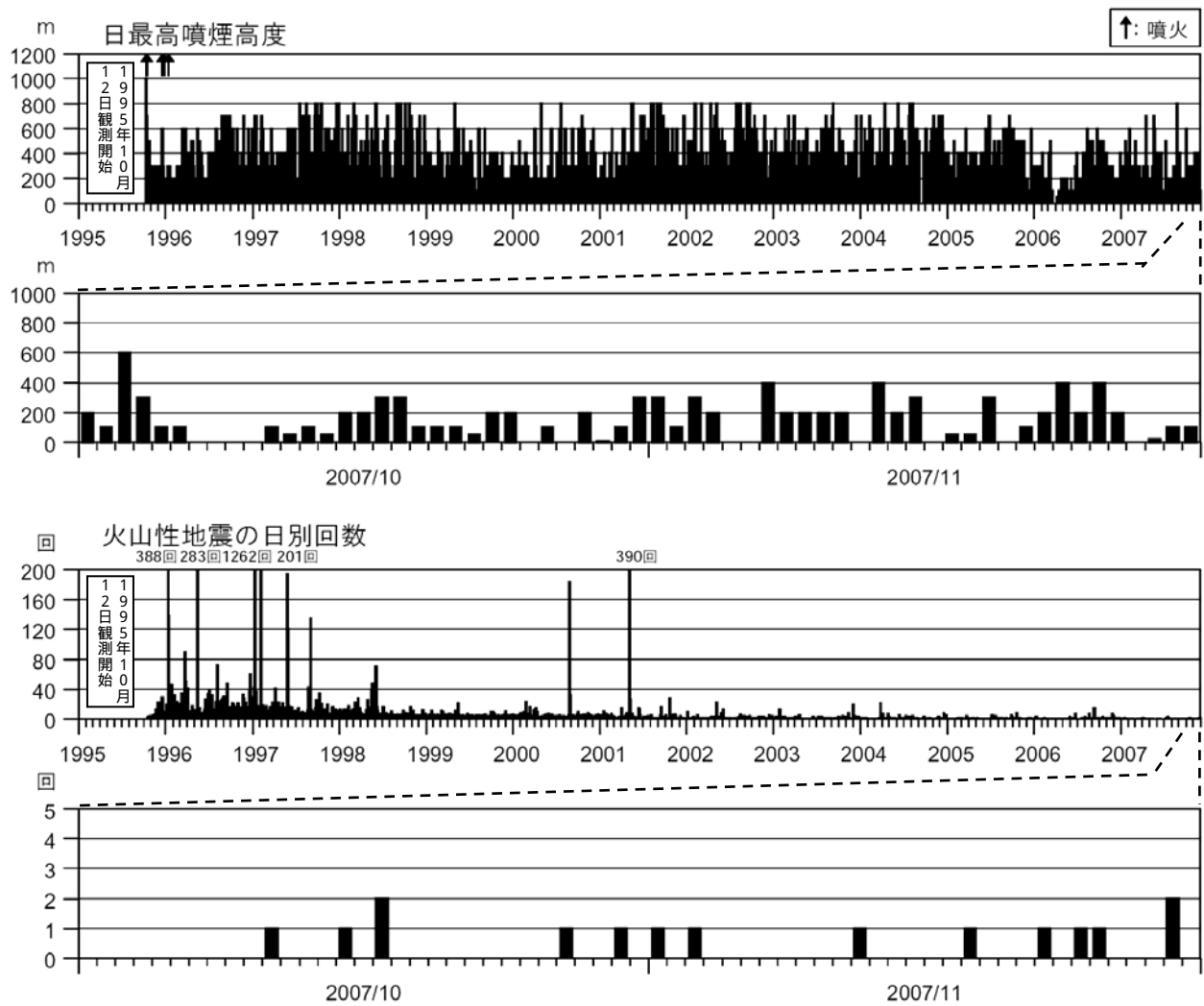


図2 九重山 火山活動経過図(1995年10月12日～2007年11月30日)

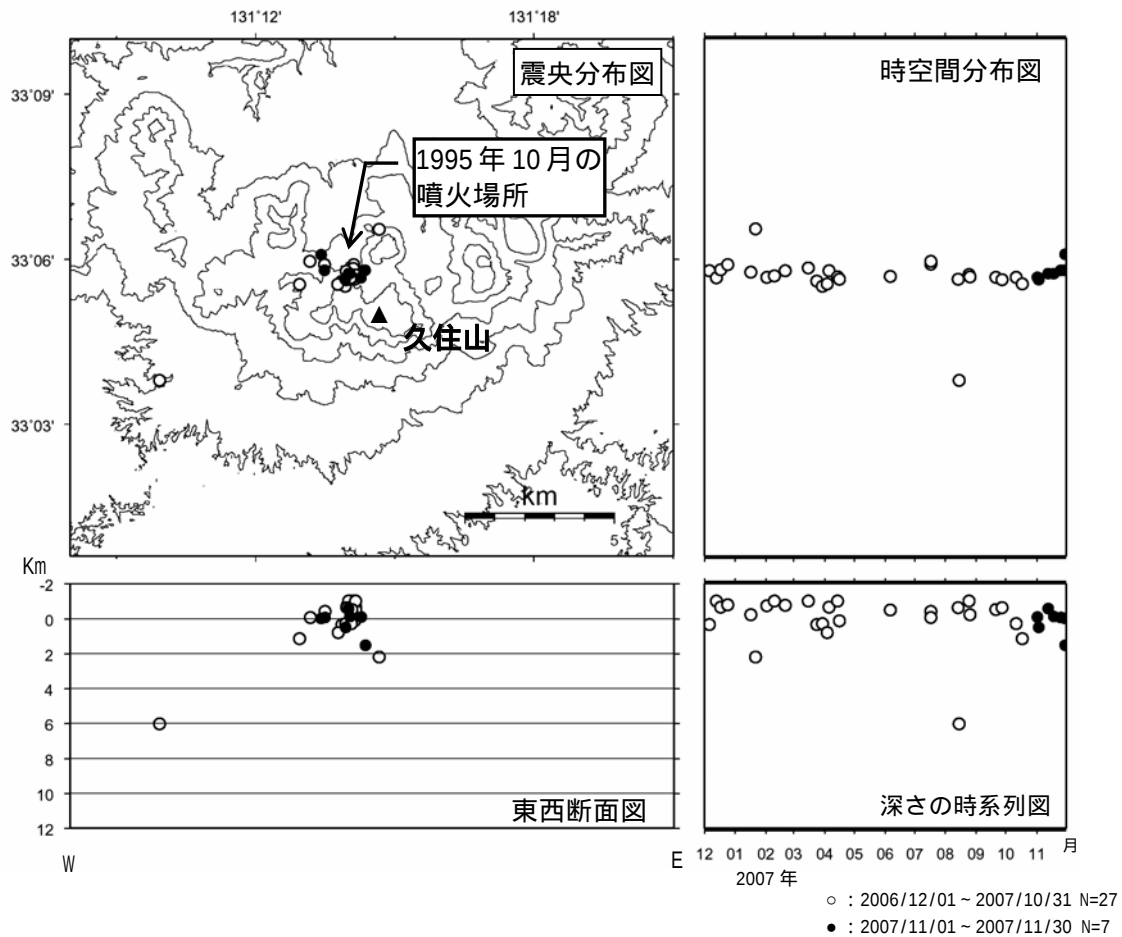


図 3 九重山 震源分布図(2006 年 12 月 ~ 2007 年 11 月)
2007 年 11 月は山体付近の浅い所に 7 個震源が決まりました。

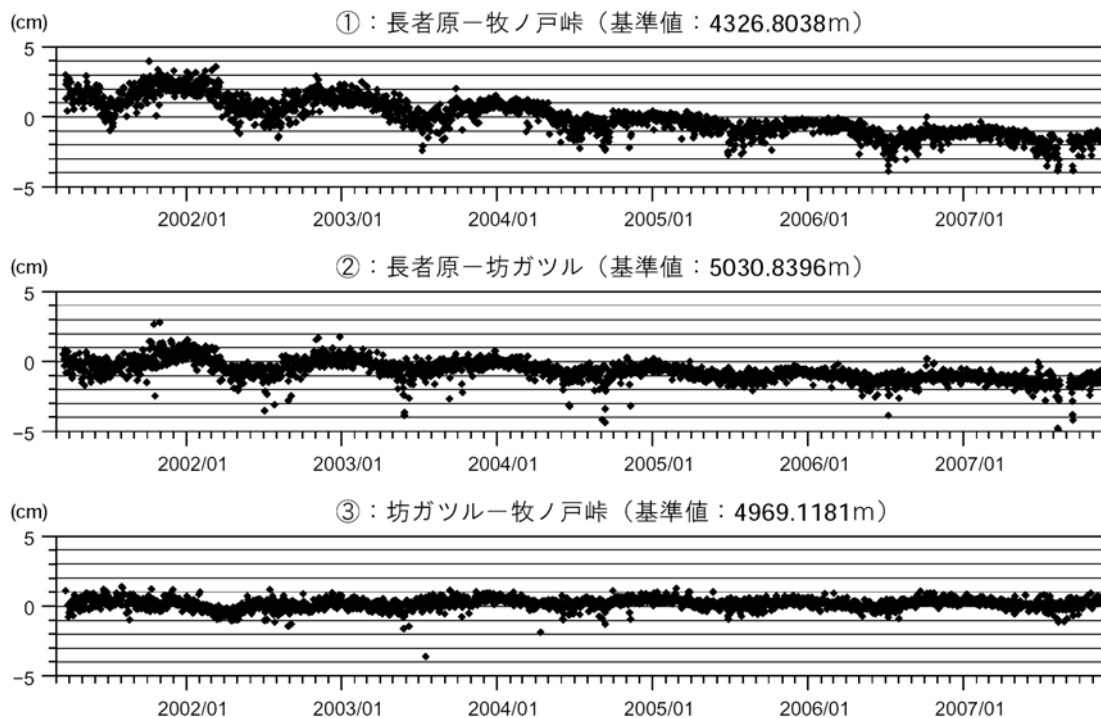


図 4 九重山 GPS 連続観測による基線長変化(2001 年 3 月 1 日 ~ 2007 年 11 月 30 日)
GPS による連続観測では、長者原—坊ガツル及び長者原—牧ノ戸峠の基線長に、1995 年から 1996 年噴火後の火山ガスの放出に伴うと考えられる長期的な縮みの傾向が見られます。